

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゆ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

KOIKE

2021 KOIKEプライベートフェア開催

純国産8kW DBCファイバーレーザー切断機 「FIBERTEX-Zero」シリーズが新登場 世界初DBC発振器採用！フェアで初公開！

純国産8kW DBCファイバーレーザー 「FIBERTEX-Zero」シリーズ発売

小池酸素工業は、12月9日(木)、10日(金)、16日(木)、17日(金)、土気工場内FAセンターにおいて「2021 KOIKEプライベートフェア」を開催する。

同フェアでは、「DBCでファイバーレーザーの未来を拓く 純国産8kW DBCファイバーを全ての皆様へ」をテーマに、純国産新型ファイバーレーザー切断機や超小型溶接台車をはじめ、個客の課題の解決に向けた提案、設備の新規導入や改善に不可欠な情報を提供する。

期間中は、新型コロナウイルス感染リスクを鑑み、検温・消毒・マスク・ゴム手袋・飛散防止カーテンを始めとした感染対策を徹底するほか、各社個別案内を実施し、来場者同士が重ならない導線確保、3密対策ならびに見学スケジュールを設定して開催する。プライベートフェアは、事前予約制。予約状況については下記を参照。

FIBERTEX-Zeroシリーズ 世界初のDBC発振器採用

新開発のFIBERTEX-Zeroシリーズは、世界初のDBC(デュアル・ビーム・コントロール)発振器を採用。

DBCは、総出力を中心と外周の2つのビームに分割して出力できるほか、また、中心と外周それぞれのビーム出力を可変できるため、任意のビーム形状を形成できる。中心ビームのみの出力によりシングルビームと同等の性能が得られるほか、外周ビームを使うことで鋼板へのビーム吸収性を高めることができる。ビーム品質を損なうことなくビーム径を拡大して切溝内の熔融金属の排出性を向上でき、薄板から中厚・厚板まで広範囲の領域に適用できる。また、難切断材や表面が錆びた鋼板でも先行焼き無しで安定して切断できる。さらに、開先切断ユニットを搭載することで開先切断も可能にする。



8kWファイバーレーザー切断機
＜材質：SN490C材 板厚：22mm＞



12kWファイバーレーザー切断機
＜材質：SN490C材 板厚：25mm＞

FIBERTEX-Zeroシリーズは、フジクラ社製8kW DBCファイバーレーザー発振器を搭載。新開発のDBCファイバー専用トーチヘッド「Kトーチ」及びDBC専用ノズルにより、DBCファイバーの切断性能を極限まで高めている。最上位モデル12kW DBCと8kW DBCの2機種が選択可能になっている。

同機は、機体本体の剛性を上げることで切断精度を向上。これまでレーザー切断が困難とされていたSN490C材、板厚22mmの安定切断が可能のほか(8kW)、SN490C材、板厚25mmの安定切断を可能にする(12kW)。

2021 KOIKEプライベートフェア

＜日程＞

2021年12月 9日(木)～10日(金)

2021年12月16日(木)～17日(金)

＜会場＞

小池酸素工業 土気工場内FAセンター
〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台1-9-3

＜主な出展・展示予定機＞

- 純国産8kW DBC発振器搭載ファイバーレーザー切断機「FIBERTEX3508 Zero」。新製品
- 12kW DBC発振器搭載ファイバーレーザー切断機「FIBERGRAPH-3512 Zero」。最上位モデル
- 切断部材自動片付けロボットシステム「KSR」。
- ガス切断の熟練技術を再現 自動ガス流量制御装置「フレイムマスター」。
- KOIKE史上 最小・最軽量！すみ肉溶接台車「WEL-HANDY COMPACT」。
- KOIKEの特化則対策コーナー。
- その他、業界初・日本初の各種製品展示。

※出展機の詳細は同社営業まで問い合わせを。

※事前予約制。
予約状況については下記URLを参照。



■ 予約状況については → https://www.koike-japan.com/jp/event/2020pf_
■ 小池酸素工業URL → <https://www.koike-japan.com/home>